

取扱説明書

電動ハンドカッター

MC-10 MC-12

この度は、電動ハンドカッター MC-10, MC-12を

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり正しく

安全にお使いください。

また、取扱説明書は大切に保管してご利用ください。

プライムテック株式会社

コムテック事業部

目 次

はじめに	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
用途	5
各部の名称	6
仕様	6
ご使用方法	7
・刃物の取付け、取外し方法	7
・電源との接続	7
・切断方法	8
・使用後	8
・サーキットブレーカー	9
機械や付属品の保管	9
保守・点検	10

はじめに

この製品を正しく安全に効率的にご使用いただくために、この取扱説明書に示されている注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで本機を取扱わないでください。また、この取扱説明書に説明された用途以外、使用しないで下さい。この取扱説明書に書かれていない使用によって、けがおよび損害が発生した場合、当社は責任をおいしません。

注意事項は  **警告** と  **注意** に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される内容。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては、重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。



警告

- ①作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ②作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・本機は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないで下さい。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③必ずアース(接地)してください。
 - ・故障や漏電などのとき感電の恐れがあります。
 - ・漏電しゃ断器が設置されていることを確認してください。
 - ・ガス管に取付けると爆発の恐れがありますので絶対にしないでください。
- ④子供を近づけないでください。
 - ・作業者以外、本機やコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、本機の能力に合った速さで作業してください。
- ⑥きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - ・作業時は、必ず保護メガネ、防塵マスク、作業用手袋、耳栓、保安帽、安全靴を着用してください。
- ⑦コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って本機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のものがった所に近づけないでください。
- ⑧無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。



警告

- ⑨次の場合は、本機のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。
- ・作業中断時や作業後、または、修理する場合。
 - ・刃物等を交換する場合。
- ⑩スパナ、レンチなどは、必ず取りはずしてください。
- ・電源を入れる前に、スパナやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑪不意な始動は避けてください。
- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・さし込みプラグを電源に差し込む前にスイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑫継ぎ(延長)コードを使用するときはアース線を備えた3芯キャブタイヤケーブルを使用してください。
- ・アース線のない2芯コードですと感電の原因になります。
- ⑬油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ・本機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている時や病気の時、飲酒後など体調が正常でない場合は使用しないでください。
- ⑭損傷した部品がないか点検してください。
- ・使用前に、各部の損傷がないか十分点検し正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
 - ・ネジ類のゆるみや破損部品がないか確認してください。
 - ・貼付してある銘板が、汚れや紛失してないか確認してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできない本機は、使用しないでください。
- ⑮本機の修理は、当社営業所に依頼してください。
- ・修理は必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申しつけください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがの原因になります。

使用上のご注意

先に本機の安全上の注意事項を述べましたが、本機としてさらに、次に述べる「使用上」の注意を守ってください。

警 告

- ①使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ②作業する箇所に、電線管、水道管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると、刃物が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③本機は乾式切削専用です。湿式切削(水をかけて切削すること)は、絶対にしないでください。故障や事故の原因になります。
- ④モーター内部に水が入らないようにしてください。
モーター内部に水が入ると絶縁性能が低下し感電・焼損の原因になります。
- ⑤ダイヤモンドブレードで金属の切断をしないでください。
金属の切断をすると、過熱して寿命を著しく短くし、また破損し、けがの原因になります。
- ⑥使用中は振り回されないように、フロントハンドルをつけ本体を両手で確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。
- ⑦切削途中で、刃物を回転させたまま本体を持ち上げないでください。
その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑧スイッチを切ってもしばらくの間、刃物は回転していますので注意してください。
けがの原因になります。
- ⑨使用中は、刃物や回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑩使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。そのまま、使用していると、けがの原因になります。
- ⑪誤って落としたり、ぶつけたときは、刃物や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

△ 注 意

- ①刃物や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- ②刃物にヒビ、割れ、ソリなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- ③刃物の側面で切削物のバリ取り、研磨などはしないでください。
- ④作業前に、人のいない方向に刃物に向けて空転させ、機体の振動や刃物の面振れなどの異常がないことを確認してください。
- ⑤切削しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
- ⑥回転する刃物で、コードを切断しないよう注意してください。
- ⑦本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
- ⑧回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑨高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っかけないでください。

○ 騒音に関する規制について

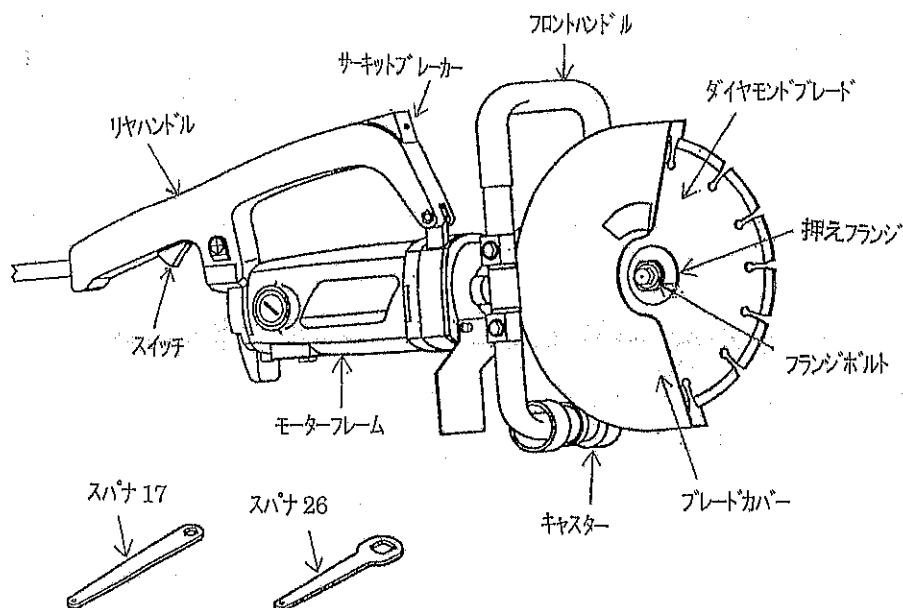
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規則があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

用 途

MC-10, MC-12は次の用途に使用できます。

- ・ダイヤモンドブレード使用……U字溝、ヒューム管などコンクリート2次製品の切断
- ・パウダーブレード使用………鋳鉄材料、ダクタイル管、FRP管の切断
- ・金属用砥石（赤ラベル）使用……鉄筋、鉄板、鋼管などの切断
- ・非金属用砥石（緑ラベル）使用…鋳鉄管、コンクリート、ヒューム管、ブロック、タイルの切断

各部の名称



仕様

型 式	MC-10	MC-12
電 源	単相 交流 100V 50/60HZ	
定 格 電 流	15A	
消 費 電 力	1400W	
無 負 荷 回 転 数	3200RPM	
本 体 重 量	8.5KG	9.1KG
本体全長×全幅×全高	620×230×330	645×230×355
電 源 コ ー ド	3芯 2.5m (シングル絶縁)	
使 用 ブ レ ード	10" (254mm) × 内径22mm	12" (305mm) × 内径22mm
最 大 切 込 深 さ	100mm	125mm

ご使用方法

1. 刃物の取付け、取外し方法

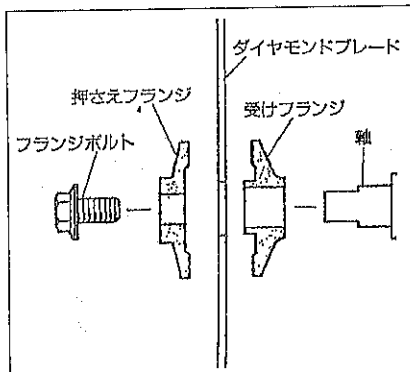


警 告

刃物の取付け、取外しをする時は必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

1-1. 取付け

- ①まず押えフランジにスパナ26をかけ、スパナ17か、指でフランジボルトを右にまわしてゆるめ、フランジボルトと押えフランジを外してください。
- ②受けフランジ、押えフランジの刃物との当り面を布等できれいにしてください。
- ③軸にあわせて受けフランジをはめ、刃物をブレードカバー上部の矢印と回転方向を合わせてください。
- ④刃物の上から押えフランジをはめフランジボルトを左にまわして取付けてください。
- ⑤押えフランジにスパナ26をかけ、フランジボルトをスパナ17で締め付けてください。



警 告

フランジにはダイヤモンドブレード専用と砥石専用の2種類がありますので用途に応じてフランジを交換して下さい。

1-2. 取外し

- ①スパナ26を押えフランジにかけ、スパナ17でフランジボルトを右にまわしてください。
- ②フランジボルトと押えフランジをとり刃物を取外してください。

2. 電源との接続



警 告

100Vの電源を使用してください。

2-1. スイッチOFFの確認

スイッチを引き、離した時に引金に戻ることを確認してください。

2-2. 接続

- ① 電源コード端しにあるアースクリップをアース線に接続してから、差込みプラグを電源に差し込んでください。
- ② コンセントに差込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。
そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

3. 切断方法

警告

- ①スイッチを入れると、モーターや刃物の回転する反力により、機械全体が振られます。機械は両手で確実に保持してください。
- ②切削材などに刃物を当てたままスイッチを入れないでください。

3-1. スイッチの操作

- ①左手でフロントハンドル上部を握り、右手でリヤハンドルを握ってください。
スイッチを引くと、刃物が回転します。スイッチを離すと、回転は止まります。
- ②連続使用の場合
スイッチを引いたまま、ロックボタンを押すと、スイッチは入ったままになり、刃物は回転を続けます。
再度スイッチを引くとロックボタンが外れ、スイッチから指を離すと回転は止まります。

3-2. 切断

- ①切削材から刃物を離した状態でスイッチを入れ、刃物の回転が上昇し安定したら切断面に刃物を軽く当ててください。
機械は傾けたりせず、真っすぐにゆっくりと進めて切断してください。
- ②切断面に刃物を強く押しつけないで刃物の回転を維持するように切断してください。強く押しつけると回転が下がり、かえって切削力が悪くなります。
またモーター故障の原因にもなります。

4. 使用後

警告

使用後は必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いておいてください。
また、スイッチが連続運転状態になっていないか確認してください。

使用後はモーターを無負荷回転させて、モーター内部に風を送りますと、内部のごみやほこりの排出に効果があります。

5. サーキットブレーカー



警告

サーキットブレーカーを復帰させる前には必ずスイッチを切ってください。

5-1. サーキットブレーカーの作動

切削作業中、過負荷がかかりますとモーターの焼損防止の為、サーキットブレーカーが作動し自動的にモーターが停止します。

サーキットブレーカーが作動しますとリヤハンドルの前部よりボタンがでます。

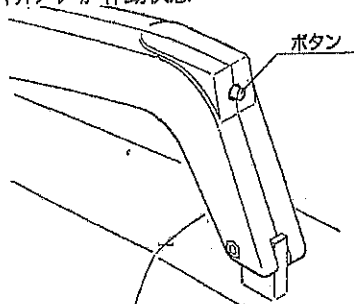
5-2. サーキットブレーカーの復帰

まずスイッチを切ってください。

約 30 秒間待つてボタンを押してください。

再び使用できます。

サーキットブレーカー作動状態



注 記：

強く押し付けて切削しますと、サーキットブレーカーが頻繁に作動します。

サーキットブレーカーの寿命が短くなるだけでなく、モーターの焼損の原因ともなります。モーターの能力を十分に発揮させる為に、サーキットブレーカーが作動しない切削作業を行ってください。

サーキットブレーカーは消耗品です。軽く作業しても頻繁にサーキットブレーカーが作動する場合は交換してください。

機械や付属品の保管

使用しない機械や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・整備をするときは、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

1. 各部品品の点検

ネジなどのゆるみや破損部品がないか定期的に点検してください。ゆるんだネジは締め直し、破損部品は新品と交換してください。

2. 使用後の手入れ

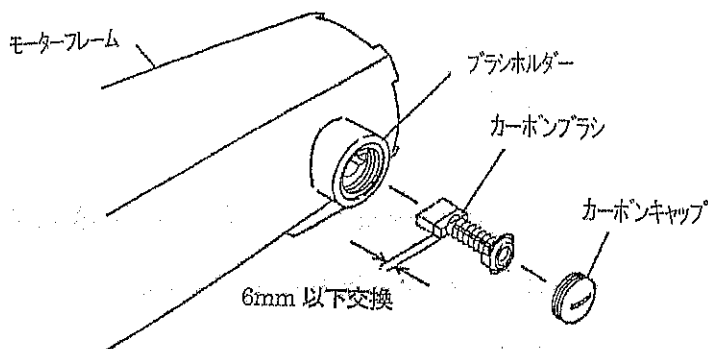
機械全体を乾いたきれいな布等で拭いて下さい。機械に水、油分等が付着しないようにしてください。

汚れを取る場合はシンナー、洗油などは使用しないでください。

3. カーボンブラシの点検、交換

カーボンブラシは時々取外して点検してください。

- ①カーボンキャップをドライバーでゆるめ、カーボンブラシを取外す。
- ②カーボンブラシの長さが6mm以下であれば新品と交換する。
- ③ブラシホルダー内のゴミ等を取除いてきれいにする。
- ④カーボンブラシの金属の爪がブラシホルダーの長溝に入るように差込む。
- ⑤カーボンキャップを締付ける。



注 記:

カーボンブラシは2ヶで1組になっております。交換する時は左右とも同時に交換してください。

カーボンブラシは必ず当社純正品をご使用ください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを
下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日	販売店
製造番号(NO.)	電話番号

プライムテック株式会社 コムテク事業部

〒175-0094 東京都板橋区成増3-9-17

TEL(03)6909-2053 FAX(03)6909-2032